9/15 平成25年（2013年） No.729
広報 Public Relations Kyotanabe City
京たなべ
発行／京田辺市
〒610-0393京都府京田辺市田辺80
☎(0774)63-1122 FAX(0774)63-4781
HP http://www.kyotanabe.jp/

市の人口 平成25年9月1日現在

世帯数	26,145世帯
男	31,932人
女	33,688人
合　計	65,620人

命を守る地域の力
避難所運営の手順を確認

各地区の集合場所から、そろって避難所へ

外傷の手当後、問診を受ける要配慮者

避難所に届いた救援物資をリレー方式で運ぶ参加者

９月１日、薪小学校体育館で、大地震を想定した避難所運営訓練を行い、薪区・一休ケ丘自治会の住民や市・社会福祉協議会の職員、災害ボランティア登録者など、約300人が参加しました。

同訓練は、災害時に公的な援助が行き届くまでの間、地域の力で円滑に避難所の設置・運営ができるよう行ったもので、市内では初めての取り組みです。

参加者は総務・物資・救護・環境の４班に分かれ、避難者名簿の作成や救援物資の配分、障がい・持病などがある要配慮者への対応、簡易トイレの設置などを実践。訓練を通じ、避難所運営の手順を確認しました。

特産 玉露に親しもう

京田辺市は日本有数の玉露の産地。今年行われた全国・関西・京都府の品評会では１位を獲得しました。

近ごろはペットボトルで手軽にお茶を飲めることもあって、「京田辺に住んでいるのに玉露を味わったことがない」という人も多いのでは。

そこで今号は、お茶の魅力に迫る話題を紹介します。抽出温度や時間で、まったく違った風味になる玉露。丁寧に淹れた玉露のおいしさを知れば、あなたも玉露ファンになること間違いなしです。

輝く
農林水産大臣賞を受賞
全国・関西・京都府で1位

８月27日～30日、宇治茶会館（宇治市）で第67回全国茶品評会が開かれ、草内地区の小林治さんが、玉露部門で全国１位となる農林水産大臣賞を受賞しました。全国茶品評会で、京田辺市の生産者が同賞を受賞するのは13年ぶりです。

また、５位には三山木地区の林昭さん、６位に飯岡地区の出島重雄さんがそれぞれ入賞。今年は、関西・京都府の品評会でも本市が１位を獲得しており、「玉露のまち京田辺」を全国にPRする素晴らしい結果となりました。

全国茶品評会の玉露部門には、京都府・福岡県などから110点が出品。20人の審査員が、外観・香り・水色・滋味などを厳正に審査し、入賞者を決定しました。

問合せ先＝農政課（☎64・1362）

楽しむ
手もみ製茶を見るチャンス！
茶まつり 10/6

市は、特産のお茶に親しんでもらうため、茶まつりを開きます。

会場では、京田辺茶手もみ技術保存会の会員が、普段見ることのないお茶の手もみを披露。また、日本茶インストラクターが、おいしい玉露の淹れ方を伝授します。

日時＝10月6日(日)。小雨決行
時間＝午前10時～午後３時
場所＝酬恩庵一休寺参道
内容＝▼手もみ製茶実演▼おいしい玉露の淹れ方教室▼京田辺玉露の無料接待
問合せ先＝農政課（☎64・1362）

蒸した茶葉を乾燥させる工程では玉露の甘い香りが広がります

学ぶ

10月19日 シンポジウム

宇治茶を世界遺産に
お茶・農産物の直売も

第67回全国お茶まつり京都大会実行委員会は、「日本茶のふるさと宇治茶を世界遺産に」をテーマに、シンポジウムを開きます。

日にち＝10月19日(土)
時間＝午後１時～５時
場所＝宇治市文化センター
内容＝基調講演、ミニコンサート、宇治茶・農産物の直売など
午前11時30分からは宇治茶の無料接待があります。
定員＝先着４００人
費用＝無料
申込方法＝電話で申し込んでください
しめきり＝10月11日(金)
問合せ先＝京都府農政課（☎075・414・4898）

玉露の基本を教わろう
茶席遊び「茶香服」にも挑戦

京田辺市観光ボランティア協会は、玉露の基本を学ぶ研修会を開きます。

お茶を飲んで種類を当てる茶席遊び「茶香服（ちゃかぶき）」にも挑戦できます。

日にち＝10月26日(土)
時間＝午前10時～正午
場所＝中央公民館
対象＝市内に在住・通勤・通学する人
内容＝玉露の淹れ方・茶香服をやってみよう
講師＝市職員
定員＝先着50人
費用＝100円
申込方法＝電話・FAX・電子メールで、住所・氏名・電話番号・参加人数を連絡してください
申込・問合せ先＝京田辺市観光案内所（☎68-2810、FAX68-2817、メールアドレス info@kyotana.be）